

杉戸町立図書館資料収集方針

平成18年3月3日

教 育 長 決 裁

(目的)

- 1 この方針は、杉戸町立図書館条例（平成17年条例第23号）第2条の規定に基づき、杉戸町立図書館（以下「図書館」という）における資料の収集に関して必要な事項を定めるものとする。

(基本方針)

- 2 生涯学習社会、高度情報化社会を迎え、町民の多様化・高度化した学習ニーズに応え、町民の自己実現並びに地域社会における教育の向上と文化の創造に寄与するため、図書館は、図書館法の理念に基づき、次に掲げる事項のとおり、資料・情報を収集し提供する。
 - (1) 地域を支える情報拠点として、地域や住民の役に立ち、町民の文化、教養、調査研究、趣味・娯楽等に資するため、資料・情報を収集する。
 - (2) 社会的な動向の把握や、利用傾向の分析に努め、適正な資料の構成を図る。
 - (3) 資料の選択及び収集においては、「図書館の自由に関する宣言」の精神に基づき、自由、公平、公正な立場から次の点に留意して収集する。
 - ア 対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立った資料を収集する。
 - イ 著者の思想的、宗教的、政治的な立場にとらわれることなく収集する。
 - ウ 図書館職員の個人的な関心や好みに偏ることなく収集する。
 - エ 個人、組織、団体からの圧力や干渉に左右されることなく収集する。
 - オ 寄贈資料の受入れに当たっても同様とする。
 - (4) 公民館、学校等との連携・協力を考慮し、町内における図書館システム全体として必要な資料を収集する。
 - (5) 県立図書館や県内市町村立図書館等との連携・協力を考慮して収集する。
 - (6) この方針は、公開して広く町民の検討と協力を得て、必要に応じ修正を行うよう努める。

(収集資料の種類)

- 3 収集する資料の種類は、次のとおりとする。
 - (1) 図書（一般図書・児童図書・青少年向け図書・参考図書・外国語資料）
 - (2) 逐次刊行物（新聞・雑誌・その他）
 - (3) 官公庁出版物
 - (4) 地域資料・行政資料
 - (5) 視聴覚資料（CD・DVD・その他）

- (6) 障がい者及び高齢者サービス用資料（点字資料・録音資料・大活字本・その他）
- (7) 電子資料（CD-ROM・その他）
- (8) 漫画
- (9) 寄贈資料
- (10) その他（地図・パンフレット・その他）

（資料別選択基準）

4 資料の種類別選択基準は、次にとおりとする。

（1）図書

ア 一般図書

- （ア）各分野にわたり基本的、入門的な図書を中心に、必要に応じて専門的な図書を体系的に収集する。
- （イ）文化、教養、調査研究、趣味、娯楽等に資する資料を幅広く収集する。
- （ウ）地域の課題解決や日常生活をおくる上での問題解決に役立つ資料を収集する。

イ 児童図書

- （ア）乳幼児から小学生までの各発達段階に応じて、ものがたり、知識の本、調べものの本、絵本、紙芝居など幅広く収集する。
- （イ）読書の喜びや楽しみを発見し、読書習慣の形成と継続に役立つ資料を収集する。
- （ウ）視野を広げ、想像力を養い、情操を豊かに育む資料を収集する。
- （エ）調べ学習に役立つ資料を収集する。
- （オ）多種多様な文化の理解に役立つ資料を収集する。
- （カ）公民館、学校等との連携を考慮して収集する。

ウ 青少年向け図書

- （ア）中学生以上の十代を対象とし、感性や知性を豊かにし、精神的・知的成長の糧となる資料を収集する。
- （イ）読書習慣の形成と継続に役立つ資料を収集する。
- （ウ）生きるための勇気と希望を与える資料を収集する。
- （エ）多種多様な文化の理解に役立つ資料を収集する。

エ 参考図書

- （ア）町民の多種多様な調査研究に資するため、辞典・事典・図鑑、年鑑・統計・白書、書誌・索引、地図等を幅広く収集する。
- （イ）図書・逐次刊行物・電子資料・パンフレット等多様な形態の資料を幅広く収集する。
- （ウ）年鑑・統計・白書等の定期刊行物については、常に最新の情報が提供できるよう継続して収集する。

オ 外国語資料

- （ア）町民の国際理解に貢献し、在住外国人の日本及び日本語学習に役立つ資料を

収集する。

(イ) 児童書、青少年向け図書についても収集する。

(2) 逐次刊行物

ア 新聞

国内発行の主要な全国紙及び地方紙で、児童及び青少年向けのものも含め収集し、必要に応じて専門紙、機関紙、外国紙についても収集する。

イ 雑誌

国内発行の各分野における基本的な雑誌を中心に、必要に応じて専門誌を、地域資料並びに児童・青少年向けのものも含め収集する。

(3) 官公庁出版物

ア 政府諸機関が発行する資料については、主要なものを収集する。

イ 地方公共団体その他公的機関が発行する資料は、必要に応じて収集する。

(4) 地域資料・行政資料

ア 杉戸町に関する資料は、図書・逐次刊行物・パンフレット・地図・写真等多様な形態の資料を遡及的、網羅的に収集する。

イ 杉戸町在住者及び出身者の著作を積極的に収集する。

ウ 杉戸町をはじめ関係行政機関で発行された資料を網羅的に収集する。

エ 町史編纂室や他の類縁機関との連携を図りながら、古文書・記録・映像・録音資料を収集する。

オ 埼玉県に関する資料及び県内外の近隣市町に関する資料を収集する。

カ 地域の特性を活かし、心学に関する資料及びトンボと環境保護に関する資料を積極的に収集する。

キ 姉妹都市・友好都市に関する資料を収集する。

(5) 視聴覚資料

ア CD、DVD、絵画等活字以外のメディアの特性を活かした資料を収集する。

イ 映像資料については、映画、アニメーション、音楽、芸術、スポーツ、教養等の分野を中心に芸術的または記録的価値のある資料を収集する。

ウ 録音資料については、クラシック、ポピュラー、映画音楽、邦楽、童謡、芸能、語学、文芸など幅広い分野から基本的な作品及び代表的演者の作品を中心に収集する。

エ その他、絵画、写真、ポスター等は、必要に応じて収集する。

(6) 障がい者及び高齢者サービス用資料

ア 障がい者及び高齢者等図書館利用に障害のある人のために、点字資料、録音資料、大活字本等を収集する。

(7) 電子資料

ア 高度情報化社会における町民の調査研究に資するため、CD-ROM、オンライン・データベース等の電子メディアについて、児童及び青少年向け資料も含め

て積極的に収集する。

(8) 漫画

- ア 長い年月を経て社会的に評価の定まった作家及び作品を収集する。
- イ 文学的で芸術性に優れた作品を収集する。
- ウ 時代を反映した作品を収集する。
- エ 教育的価値のある作品を収集する。

(9) その他

- ア 地図資料等は、必要に応じて収集する。
- イ パンフレット、リーフレット等も積極的に収集する。

(収集の対象としない資料)

- 5 次の資料は原則として収集しないものとする。
 - (1) 学習参考書、受験参考書及び各種試験問題集。
 - (2) 高度に専門的な学術書、美術書。
 - (3) 人権又はプライバシーを侵害するもの。
 - (4) わいせつ出版物として判決が確定したもの。
 - (5) その他、公共図書館に不相当と判断されるもの。

(複本)

- 6 複本については、利用状況及び公民館、学校等との連携・協力を考慮しながら、必要に応じて収集する。

(寄贈資料)

- 7 資料の収集については、購入を原則とするが、寄贈・寄託も必要に応じて活用する。
寄贈・寄託資料の取り扱いについては、次のとおりとする。
 - (1) 資料の寄贈は、購入資料との関連性を考慮し、必要と認めたものを受け入れる。
 - (2) 寄贈資料の選択基準については、本方針を適用する。

(選定方法)

- 8 資料選定は次のとおり実施する。
 - (1) 職員の合議により選定し、館長が決定する。
 - (2) 各種出版情報等を活用し、本方針に基づき計画的に行う。

(購入方法)

- 9 資料の購入は、原則として杉戸町立図書館が契約している業者の販売経路から購入可能なものに限る。ただし、以下の資料に関しては、図書館長が認め

た場合に限り、販売者から請求書払いによる直接購入を認める。

- (1) 埼玉県並びに杉戸町の地域資料となる資料
- (2) 雑誌
- (3) 図書館事業において必要となる資料

(委任)

- 10 この基準に定めるものの他、資料の収集・選択に関する事項については、館長が別に定める。

附 則

この方針は、平成18年3月3日から施行する。

附 則

この方針は、令和2年4月1日から施行する。